



2019年5月10日

各位

会社名 株式会社 南 陽  
代表者名 代表取締役社長 武内英一郎  
(コード番号：7417 東証第一部・福証)  
問合せ先 常務取締役管理本部長兼  
経営企画室長 篠崎 学  
TEL 092-472-7331

### 剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、2019年5月10日開催の取締役会において、下記のとおり2019年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件は、2019年6月開催予定の第65期定時株主総会に付議する予定であります。

#### 記

##### 1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2019年2月7日公表)	前期実績 (2018年3月期)
基準日	2019年3月31日	同左	2018年3月31日
1株当たり配当金	61円00銭 (普通配当 56円00銭) (記念配当 5円00銭)	59円00銭 (普通配当 54円00銭) (記念配当 5円00銭)	54円00銭 (普通配当 51円00銭) (記念配当 3円00銭)
配当金の総額	388百万円	—	343百万円
効力発生日	2019年6月26日	—	2018年6月27日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

##### 2. 理由

当社は経営の合理化、効率化を推進し、収益力の向上、財務体質の強化をはかるとともに、安定配当を維持しながら連結純利益の状況に応じて配当額の向上に取り組むため、配当性向については連結純利益の25%程度を維持し、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、上記方針に基づき、財務状況、利益水準、配当性向等を総合的に勘案した結果、2019年2月7日にて公表しておりました期末配当金59円を61円に修正することといたしました。

なお、中間配当（1株当たり15円）を加えた年間配当は、1株当たり76円となり、前期と比べて7円の増配となります。内部留保金につきましては、今後の事業活動並びに経営体質の一層の強化に充当していく考えであります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	15円00銭	61円00銭	76円00銭
前期実績 (2018年3月期)	15円00銭	54円00銭	69円00銭

以上